

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	コミュニケーションスキル I	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	1	時期	前期
授業回数	30	実務家	広報、受付実務経験者	時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 面接に必要な基本的な力を身につける。</p> <p>【概要】 プレゼンやグループディスカッションを使って面接の基礎力を身につける。</p>				
到達目標	<p>面接力の向上。 自己分析ができる。 プレゼン力の向上</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：プレゼンテーションの説明 02：面接試験とは 03：面接基礎① 04：面接基礎② 05：面接基礎③ 06：面接基礎④ 07：朗読大会① 08：朗読大会② 09：新入生面接会フィードバック 10：プレゼンテーション基礎① 11：プレゼンテーション基礎② 12：プレゼンテーション基礎③ 13：プレゼンテーション基礎④ 14：プレゼンテーション基礎⑤ 15：自己 PR 作成①</p>		<p>回</p> <p>16：自己 PR 作成② 17：自己 PR 作成③ 18：自己 PR 作成④ 19：グループディスカッション① 20：グループディスカッション② 21：100 の質問とその対応練習① 22：100 の質問とその対応練習② 23：100 の質問とその対応練習③ 24：商品説明① 25：商品説明② 26：プレゼンテーション応用① 27：プレゼンテーション応用② 28：プレゼンテーション応用③ 29：プレゼンテーション応用④ 30：プレゼンテーション応用⑤</p>		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	総合学習Ⅳ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 働くということに関して、意識を高く持ち時期を逃さない就職活動ができるようにする</p> <p>【概要】 業界研究、職種研究を通じて、自己の職業選択に資する</p>				
到達目標	<p>業界研究を行い、志望する業界を選定する</p> <p>業界研究を行い、志望する職種を選定する</p> <p>就職活動に必要なルールを理解する</p>				
授業内容	回 01：就職斡旋規定説明 02：就職システムへの登録 03：就職サイトへの登録 04：就職適性試験① 05：就職適性試験② 06：就職適性試験③ 07：就職面談① 08：就職面談② 09：Web を利用した業界研究 10：Web を利用した職種研究 11：自己分析① 12：自己分析② 13：自己 PR 作成① 14：自己 PR 作成② 15：自己 PR 作成③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園 【就職ガイドブック】【公務員ガイドブック】				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	総合学習 V	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 就職活動に備え、履歴書やESといった書類を作成できるだけの自己分析を行う</p> <p>【概要】 自己分析を行い、履歴書やES作成に必要な情報を収集する</p>				
到達目標	<p>履歴書の項目の書き方のルールを理解する</p> <p>企業説明会や書類提出に際して必要な基礎知識を身につける</p> <p>WEBエントリーやオープンESの作成方法について理解する</p>				
授業内容	回 01：履歴書やエントリーシートの大切さとレクチャー 02：美文字特訓① 03：美文字特訓② 04：履歴書作成① 05：履歴書作成② 06：履歴書作成③ 07：履歴書作成④ 08：履歴書作成⑤ 09：会社の選び方について 10：企業へのアクセス①インターネット 11：企業へのアクセス②電話 12：企業へのアクセス②ビジネスメール 13：OpenES の作成① 14：OpenES の作成② 15：OpenES の作成③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	学校法人大原学園 就職ガイドブック				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	PC 実習基礎 I	授業形態	実習	区分	必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Word の基本操作から文字入力、ビジネス文書の作成知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ビジネス文書の知識を習得し、Word の基本操作及び罫線を利用した表組みができる。</p> <p>2. 図表などで情報を表現し、状況にあったビジネス文書を作成できる。</p> <p>3. 職場での報告書を作成できる。</p>				
授業内容	回 01 : Word の基本操作 02 : ビジネス文書の基本ルール 03 : 社外文書の作成 04 : 社内文書の作成 05 : 様々な書式設定 06 : シンプルなレポートの作成 07 : 報告書の作成 08 : 表を使った文書の作成 09 : ワードアートを使った文書の作成 10 : 画像を使った文書の作成 11 : 図形を使った文書の作成 12 : SmartArt を使った文書の作成 13 : ビジネス文書の作成 1 14 : ビジネス文書の作成 2 15 : ビジネス文書の作成 3	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト 参考文献	大原学園【パソコン実習】				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	該当ページの確認				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	PC 実習基礎Ⅱ	授業形態	実習	区分	必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Excel の基本操作から表計算、関数の活用、グラフの作成、データベースの活用知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Excel の機能や表計算に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. データ入力と計算式の作成及び表の作成、編集を行うことができる。</p> <p>2. グラフの作成と編集ができ、基本的な関数を利用することができる。</p> <p>3. 関数を使用して作業の効率化を図ることができる。</p>				
授業内容	回 01 : Excel の基本操作 02 : 数式について 03 : SUM 関数について 04 : 見やすく使いやすい表にする編集操作 05 : グラフの基本 06 : 目的に応じたグラフの作成と編集 07 : 複合グラフの作成 08 : 相対参照と絶対参照 09 : AVERAGE 関数について 10 : MAX・MIN 関数について 11 : COUNT 関数について 12 : ROUND 関数について 13 : IF 関数について 14 : IF 関数のネスト 15 : 集計表の作成	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト 参考文献	大原学園【パソコン実習】				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	該当ページの確認				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー基礎 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	【目的】 ファイナンシャルプランナーとしての基礎知識を身に付け、資格取得を目指す 【概要】 ライフプランニングについての基礎知識を身に付ける				
到達目標	教育・住宅取得資金、社会保険に関する基礎知識を身に付ける 公的年金制度について、基礎知識を身に付ける 企業年金、キャッシュフロー表等ライフプランニングについての基礎知識を身に付ける				
授業内容	回 01：ファイナンシャルプランナーの役割、財形貯蓄制度、ローンの基礎 02：教育取得資金、住宅取得資金、返済計画 03：社会保険（健康保険、国民健康保険、後期高齢者医療制度） 04：社会保険（介護保険、労災保険、雇用保険） 05：公的年金制度の概要 06：老齢基礎年金、老齢厚生年金 07：障害基礎年金、障害厚生年金 08：遺族基礎年金、遺族厚生年金、寡婦年金 09：年金の併給調整 10：企業年金自営業者のための年金 11：キャッシュフロー表① 12：キャッシュフロー表② 13：中小法人の資金計画 14：決算書の分析 15：クレジットカードに関する基礎知識	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 FP 講座 ファイナンシャルプランナー3級テキスト				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー基礎 Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通し、人生のリスクに応じた保険やプランを提案するための基礎知識及び錦秋資産に関する基礎知識を学習する</p> <p>【概要】 生命保険と損害保険の種類と内容、保険制度全般を学ぶ</p>				
到達目標	<p>生命保険の役割、種類について理解する</p> <p>損害保険の役割、種類について理解する</p> <p>金融資産について理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：リスクマネジメント、保健制度</p> <p>02：生命保険の仕組みと契約、継続</p> <p>03：生命保険の分類、保障重視の保険</p> <p>04：保障と貯蓄を組み合わせた保険、貯蓄重視の保険</p> <p>05：特約の種類と内容、損害保険の仕組み、火災保険</p> <p>06：自動車に関する保険、賠償責任、企業活動に関する保険</p> <p>07：生命保険と損害保険に関する課税関係、経理関係</p> <p>08：法人契約に関する経理処理、第三分野の保険と共済</p> <p>09：経済活動と景気の判断指標、景気対策と金利変動</p> <p>10：金融商品の分類基準と預貯金の種類、債券の概要</p> <p>11：個人向け国債と債券のリスク、株式概要と株価指標</p> <p>12：投資信託の概要、種類及び情報開示</p> <p>13：外貨預金と為替相場、先物取引</p> <p>14：預貯金と債券・株式と投資信託の課税関係</p> <p>15：預金保険制度などのセーフティネット、金融商品販売法と消費者契約法</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原 F P 講座テキスト&問題集				
成績基準	定期試験				

準備学習の
内容

各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー基礎Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通し、パーソナルファイナンスにとって必要な税の知識を身に付ける</p> <p>【概要】 個人に課税される所得税の仕組みや各種所得の内容を学ぶ</p>				
到達目標	<p>所得税の仕組みを理解する</p> <p>所得の種類と控除制度を理解する</p> <p>自分自身に課税される税金が計算できる</p>				
授業内容	回 01：税金の分類と計算体系 02：所得税の基本原則と計算体系 03：利子所得と配当所得 04：不動産所得と事業所得 05：給与所得と退職所得 06：山林所得と譲渡所得 07：一時所得と雑所得 08：損益通算と繰越控除 09：医療費控除と社会保険料控除 10：生命保険料控除と地震保険料控除 11：配偶者控除と配偶者特別控除 12：扶養控除と基礎控除 13：配当控除と住宅ローン控除 14：確定申告と青色申告制度 15：個人住民税と個人事業税	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 FP講座テキスト&問題集				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー基礎 IV	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 ファイナンシャルプランナーの基礎の学習を通して、不動産の取り扱い方や相続に必要な知識を理解する。</p> <p>【概要】 住宅を建てる際の制限や不動産に関する税金、遺産争いの防止策や納税資金対策についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>不動産に関する取引やルールを基本的な考え方を理解している</p> <p>相続や事業継承に係る必要な法律上のルールを理解している</p> <p>不動産に係る税金や相続税に関する一般的なことを説明できる</p>				
授業内容	回 01：不動産の価格・鑑定評価・調査の方法について 02：宅地建物取引業について 03：不動産の売買契約・賃貸契約 04：都市計画法・建築基準法 05：建物の区分所有等に関する法律（区分所有法）・農地法 06：不動産の所得に係る税金 07：不動産の有効活用と手法 08：相続の定義・相続分・遺産分割・遺言 09：贈与と法律 10：贈与税の納税義務者・申告と納付 11：贈与税の非課税財産・課税財産・計算方法 12：相続と税金（納税義務者・申告と納付・非課税財産・計算方法・債務控除） 13：財産の評価（建物・宅地） 14：財産の評価委（宅地上の権利、小規模宅地等の評価減、株式、その他） 15：相続対策	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 FP 講座 公式 FP3 級合格テキスト				
成績基準	定期試験				

準備学習の
内容

各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	一般教養	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して就職試験（SPI）に必要な学力を養成する</p> <p>【概要】 SPI の問題を通して解法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>SPI の概要を知る</p> <p>SPI の言語分野を学習する</p> <p>SPI の非言語分野を学習する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：SPI の概要及び言語分野、非言語分野「割合①」</p> <p>02：非言語分野「割合②」</p> <p>03：非言語分野「損益算①」</p> <p>04：非言語分野「文章題」</p> <p>05：非言語分野「損益算②」</p> <p>06：非言語分野「濃度算」</p> <p>07：非言語分野「年齢算」</p> <p>08：非言語分野「速さ①」</p> <p>09：非言語分野「速さ②」</p> <p>10：非言語分野「速さ③」</p> <p>11：非言語分野「速さ④」</p> <p>12：非言語分野「確率」</p> <p>13：非言語分野「集合」</p> <p>14：非言語分野「推論」</p> <p>15：非言語分野「ブラックボックス」</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ビジネスマナー基礎演習	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家	広報、受付実務経験者	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 入社後に必要とされるマナーや仕事の進め方、電話応対等の実践的なスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 就職活動時におけるマナーや技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>社会人に必要なマナーを理解する。</p> <p>立ち居振舞、正しい敬語を使うことができる。</p> <p>基本的な電話応対スキルが身に付いている。</p>				
授業内容	回 01：職場のマナー 02：仕事の進め方 03：挨拶と敬語① 04：挨拶と敬語② 05：電話応対マナー 06：電話を取り次げない場合 1（不在・外出） 07：電話を取り次げない場合 2（休暇・出張） 08：電話を取り次げない場合 3（電話中） 09：電話を取り次げない場合 4（その他） 10：電話を取り次げない場合 5（伝言・メモの書き方） 11：電話の掛け方の基本 12：電話の受け方応用（道案内等） 13：電話応対のロールプレイ 1 14：電話応対のロールプレイ 2 15：電話応対のロールプレイ 3	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	大原学園「ビジネスマナー」、随時参考資料を配布する				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	テキストの内容確認をする。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅建民法 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、宅地建物取引士として必要な民法（総則、物権）の基本的な知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 宅地建物取引士として必要な民法（総則、物権）の知識を学習する。</p>				
到達目標	<p>民法総則（制限行為能力者、意思能力）について基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>民法（代理制度）についての基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>民法（時効、物権）についての基礎的な知識を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：民法用語解説、未成年者① 02：未成年者② 03：制限行為能力者① 04：制限行為能力者② 05：意思表示① 06：意思表示② 07：代理制度① 08：代理制度② 09：無権代理行為① 10：無権代理行為② 11：時効① 12：時効② 13：物件対抗要件① 14：物件対抗要件② 15：所有権	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原宅建士講座 基礎講義権利関係				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅建民法Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、宅地建物取引士として必要な民法（共有、抵当権、債権総論）の基本的な知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 宅地建物取引士として必要な民法（共有、抵当権、債権総論）の知識を学習する。</p>				
到達目標	<p>民法（共有）について基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>民法（抵当権）についての基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>民法（債権総論）についての基礎的な知識を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：共有 02：抵当権①（被担保債権の範囲） 03：抵当権②（被担保債権の範囲） 04：抵当権③（抵当権消滅請求） 05：抵当権④（抵当権消滅請求） 06：抵当権⑤（法定地上権） 07：抵当権⑥（法定地上権） 08：債権総論①（契約、抗弁権、弁済） 09：債権総論②（契約、抗弁権、弁済） 10：債権総論③（代位、相殺、債権譲渡） 11：債権総論④（代位、相殺、債権譲渡） 12：債権総論⑤（債務不履行） 13：債権総論⑥（債務不履行） 14：債権総論⑦（危険負担、連帯債務） 15：債権総論⑧（危険負担、連帯債務）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原宅建士講座 基礎講義権利関係				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅建民法Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、宅地建物取引士として必要な民法（債権総論各論、賃貸借、相続）の基本的な知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 宅地建物取引士として必要な民法（債権総論各論、賃貸借、相続）を学習する。</p>				
到達目標	<p>債権総論各論について理解する。</p> <p>賃貸借、不法行為について理解する。</p> <p>相続について理解する。</p>				
授業内容	回 01：債権総論①（保証債務、連帯保証制度） 02：債権総論②（保証債務、連帯保証制度） 03：債権各論① 04：債権各論② 05：債権各論③ 06：債権各論④ 07：賃貸借制度① 08：賃貸借制度② 09：使用貸借制度 10：委任制度 11：不法行為① 12：不法行為② 13：相続① 14：相続② 15：相続③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原宅建士講座 基礎講義権利関係				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅建民法Ⅳ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、宅地建物取引士として必要な民法（相続、借地借家法、区分所有法、不動産登記法）の基本的な知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 宅地建物取引士として必要な民法（相続、借地借家法、区分所有法、不動産登記法）を学習する。</p>				
到達目標	<p>相続について理解する。</p> <p>借地借家法について理解する。</p> <p>区分所有法、不動産登記法について理解する。</p>				
授業内容	回 01：相続④ 02：借地法① 03：借地法② 04：借地法③ 05：借地法④ 06：借家法① 07：借家法② 08：借家法③ 09：借家法④ 10：区分所有法① 11：区分所有法② 12：区分所有法③ 13：区分所有法④ 14：不動産登記法① 15：不動産登記法②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原宅建士講座 基礎講義権利関係				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅地建物取引概論	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 宅地建物取引業法における取引業者や取引士に関するルールについて理解を深める</p> <p>【概要】 宅地建物取引業法のうち、業務上のルールを学ぶ</p>				
到達目標	<p>宅建業とその取引上の制限について理解できる</p> <p>宅建業者および宅地建物取引士の免許制度を理解できる</p> <p>宅建業を開業するにあたり必要な営業保証金や保証協会について理解できる</p>				
授業内容	回 01：宅地建物取引業者とは 02：宅地建物取引士とは 03：無免許事業の禁止 04：みなし宅建業者 05：免許制度① 06：免許制度② 07：免許制度③ 08：免許制度④ 09：営業保証金① 10：営業保証金② 11：営業保証金③ 12：営業保証金④ 13：保証協会① 14：保証協会② 15：保証協会③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 宅建士講座 基礎講義宅建業法テキスト				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅地建物取引基礎	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 宅地建物取引業法における不動産取引に関するルールについて理解を深める</p> <p>【概要】 宅地建物取引業法のうち、不動産取引上のルールを学ぶ</p>				
到達目標	<p>宅地建物取引士の基礎的な業務について理解できる</p> <p>宅地建物取引業者に課される制限について理解できる</p> <p>不動産取引に必要な契約の方法やルールを理解できる</p>				
授業内容	回 01：宅地建物取引士① 02：宅地建物取引士② 03：宅地建物取引士③ 04：宅地建物取引士④ 05：8種制限①（クーリング・オフ①） 06：8種制限①（クーリング・オフ②） 07：8種制限①（クーリング・オフ③） 08：8種制限①（クーリング・オフ④） 09：8種制限②（契約不適合責任①） 10：8種制限②（契約不適合責任②） 11：8種制限②（契約不適合責任③） 12：8種制限③（手付の性質と制限） 13：8種制限④（手付金等の保全措置） 14：8種制限⑤（他人物売買） 15：8種制限⑥（所有権留保・割賦販売）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 宅建士講座 基礎講義 宅建業法テキスト				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅地建物取引応用	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 宅地建物取引業者として必要な職業倫理を宅地建物取引業法を通して学ぶ</p> <p>【概要】 宅地建物取引業法に定める業務上の諸規則を理解する</p>				
到達目標	<p>宅建業の行う場所に関する規制について理解できる</p> <p>宅地建物取引業を営むにあたっての一般業務の規制を理解できる</p> <p>宅地建物取引業者が得られる報酬に関するルールを理解できる</p>				
授業内容	回 01：業務を行う場所に関する規制① 02：業務を行う場所に関する規制② 03：業務を行う場所に関する規制③ 04：業務を行う場所に関する規制④ 05：申込・契約を行う案内所について① 06：申込・契約を行う案内所について② 07：申込・契約を行う案内所について③ 08：一般的業務規制について 09：取引態様について 10：媒介契約と媒介契約書について① 11：媒介契約と媒介契約書について② 12：報酬①（売上の代理時の報酬計算） 13：報酬②（売上の媒介時の報酬計算） 14：報酬③（貸借の代理の報酬計算） 15：報酬④（貸借の媒介時の報酬計算）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 宅建士講座 トレーニング問題集 宅建業法				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅地建物取引総合	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 宅地建物取引業者として必要な宅地建物取引業法を総合的に学ぶ</p> <p>【概要】 宅地建物取引業法について総合的な演習を通して理解を深める</p>				
到達目標	<p>宅地建物取引業法について一定の理解ができる</p> <p>宅地建物取引士試験合格に必要な宅建業法に関する知識が身についている</p> <p>宅地建物取引業法の内容を体系的に学べている</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：重要事項説明①（土地・建物に関する説明）</p> <p>02：重要事項説明②（取引・契約に関する説明）</p> <p>03：重要事項説明③（区分所有建物に関する追加説明事項①）</p> <p>04：重要事項説明④（区分所有建物に関する追加説明事項②）</p> <p>05：重要事項説明⑤（貸借契約に関する追加説明事項について①）</p> <p>06：重要事項説明⑥（貸借契約に関する追加説明事項について②）</p> <p>07：重要事項説明⑦（割賦販売に関する追加説明事項①）</p> <p>08：重要事項説明⑧（割賦販売に関する追加説明事項②・供託所に関する説明）</p> <p>09：契約書面について①</p> <p>10：契約書面について②</p> <p>11：監督・罰則①（宅地建物取引業者および取引士への監督・処分）</p> <p>12：監督・罰則②（宅地建物取引業者および取引士への罰則）</p> <p>13：監督・罰則③（宅地建物取引業者および取引士への罰則）</p> <p>14：住宅瑕疵担保履行法について①</p> <p>15：住宅瑕疵担保履行法について②</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原 宅建士講座 トレーニング問題集 宅建業法				

成績基準	定期試験
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	不動産実務 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員及び実務家担当者（ウサミハウス）	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家	不動産会社経営	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、土地、建物に関わる様々な法律上の制限を理解する。</p> <p>【概要】 不動産会社経営の経験を活かし、土地建物に関する様々な法律上の制限があることを理解させる。</p>				
到達目標	<p>1. 建築に関わる様々な制限を理解する</p> <p>2. 都市計画に関する知識を習得する。</p> <p>3. 地区計画における内容・各種手続きを理解する。</p>				
授業内容	回 01：都市計画法の概要 02：都市計画区域・準都市計画区域の指定 03：区域区分に関する都市計画 04：地域地区に関する都市計画① 05：地域地区に関する都市計画② 06：地区計画等に関する都市計画 07：都市計画事業関連の都市計画 08：都市計画の決定 09：開発行為の規制① 10：開発行為の規制② 11：建築基準法の概要 12：建築確認等 13：単体規定① 14：単体規定②、集団規定 15：用途制限	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原宅建士講座 【法令上の制限】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	不動産実務Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通じて、土地、建物に関わる様々な法律上の制限を理解する。</p> <p>【概要】 不動産会社経営の経験を活かし、土地建物に関する様々な法律上の制限があることを理解させる。</p>				
到達目標	<p>1. 建築に関わる様々な制限を理解する</p> <p>2. 都市計画に関する知識を習得する。</p> <p>3. 地区計画における内容・各種手続きを理解する。</p>				
授業内容	回 01：道路・壁面線に関する制限① 02：道路・壁面線に関する制限② 03：建蔽率 04：容積率、斜線制限 05：日影規制、用途地域における規制 06：防火地域・準防火地域内における制限 07：その他制限 08：過半主義、建築協定 09：国土利用計画法① 10：国土利用計画法② 11：国土利用計画法③ 12：宅地造成等規制法① 13：宅地造成等規制法② 14：農地法① 15：農地法②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原宅建士講座 【法令上の制限】				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	不動産実務Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、不動産に関わる税や評価方法の理解を深める</p> <p>【概要】 不動産会社経営の経験を活かし、土地建物に関する税や、財産評価の方法を理解させる。</p>				
到達目標	<p>1. 不動産に関わる税について理解する</p> <p>2. 不動産の表示に関する法律上の制限を理解する。</p> <p>3. 土地、建物に関する一般的な知識を習得する。</p>				
授業内容	回 01：土地区画整理法① 02：土地区画整理法② 03：土地区画整理法③ 04：土地区画整理法④ 05：所属税①（譲渡所得） 06：所得税②（住宅ローン控除等） 07：登録免許税 08：印紙税 09：不動産取得税 10：固定資産税 11：不動産鑑定評価 12：地価公示法 13：景品表示法 14：住宅金融支援機構法① 15：住宅金融支援機構法②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原宅建士講座 【法令上の制限】				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	不動産実務Ⅳ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通じて、土地、建物に関わる様々な法律上の制限を理解する。</p> <p>【概要】 不動産会社経営の経験を活かし、土地建物に関する様々な法律上の制限があることを理解させる。</p>				
到達目標	<p>1. 都市計画全般関わる様々な制限を理解する</p> <p>2. 不動産に係わる税に関する知識を習得する。</p> <p>3. 地区計画における内容・各種手続きを理解する。</p>				
授業内容	回 01：土地 02：建物 03：統計 04：都市計画法①（区域区分～都市計画関連事業） 05：都市計画法②（都市計画決定～規制） 06：建築基準法①（建築確認～建蔽率、容積率） 07：建築基準法②（制限、規制～建築協定） 08：国土利用計画法 09：宅地造成等規制法 10：土地区画整理法 11：税金（所得税） 12：税金（その他税金） 13：鑑定評価、地価公示法 14：景品表示法、住宅金融支援機構法 15：土地、建物、統計	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原宅建士講座【法令上の制限】				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ビジネス実践力	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、社会人になるうえでの基礎力となる自己管理能力・強調行動力・IT 活用力・海外行動力に関する基礎知識を幅広く身につけることを目的とする。</p> <p>【概要】 社会人に求められる基礎能力をそれぞれの状況に応じ体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>自己管理能力、協調行動力、IT 活用力、海外行動力の重要性を理解する。</p> <p>学習で学んだ知識を生活の中で実践する。</p> <p>自己管理能力検定・協調行動力検定・IT 活用力検定・海外行動力検定に合格する。</p>				
授業内容	回 01：自己管理能力とは 02：社会人基礎力について 03：自己考察/自分流計画シートの書き方 04：ウィークリーページの使い方/マンスリーシートの使い方 05：個人生活と社会生活/教育基本法と理想の国民像 06：形成者としての行動センス/グローバル社会における協調行動力 07：コミュニケーション/身だしなみ・立ち居振る舞いのセンス 08：行動と時間/就業規則・職場組織と人間関係 09：タブレット端末の環境設定 10：アプリケーションソフトの活用 11：クラウドサービスとの連携 12：情報セキュリティ/情報モラル 13：海外行動 14：国際通貨 15：基本英会話	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原宅建士講座 【法令上の制限】				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅建総合Ⅰ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、民法及び特別法の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>【概要】 テキスト及び模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 権利関係（民法分野）の基礎知識の整理</p> <p>2. 権利関係（諸法令分野）の基礎知識の整理</p> <p>3. 宅地建物取引士試験で出題される問題の正答率 70%</p>				
授業内容	回		回		
	01：制限行為能力者制度演習		16：		
	02：意思表示演習		17：		
	03：取消・追認演習		18：		
	04：代理制度演習		19：		
	05：時効制度演習		20：		
	06：物権変動演習		21：		
	07：物権演習①		22：		
	08：物権演習②		23：		
	09：債権総則演習		24：		
	10：債権各論演習		25：		
	11：不法行為演習		26：		
	12：相続演習		27：		
	13：借地借家法演習①		28：		
	14：借地借家法演習②		29：		
	15：区分所有法、不動産登記法演習		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原宅地建物取引士講座 【権利関係】				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	各講義内容の復習を中心に行うこと				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅建総合Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して、宅地建物取引概論、取引基礎の理解を深める。</p> <p>【概要】 各分野の演習を実施する</p>				
到達目標	<p>1. 免許制度を中心とする宅建業の概要に関する知識の整理</p> <p>2. 各種制限、報酬、罰則に関する知識の整理</p> <p>3. 宅地建物取引士試験で出題される問題の正答率 80%</p>				
授業内容	回		回		
	01：宅建業法の概要演習		16：		
	02：免許届出、規制に関する演習		17：		
	03：欠格事由演習		18：		
	04：営業保証金制度演習①		19：		
	05：営業保証金制度演習②		20：		
	06：保証協会演習		21：		
	07：宅建士概要演習		22：		
	08：業務規制演習		23：		
	09：8種制限演習①		24：		
	10：8種制限演習②		25：		
	11：重要事項説明演習①		26：		
	12：重要事項説明演習②		27：		
	13：契約書面演習		28：		
	14：報酬演習		29：		
	15：監督処分演習		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原宅地建物取引士講座 【宅建業法】				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	各講義の復習を中心に行うこと				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅建総合Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 演習を通して、不動産に係わる様々な法律の理解を深める。</p> <p>【概要】 テキスト模擬問題を利用した演習講義</p>				
到達目標	<p>1. 不動産に係わる法規制についての知識整理</p> <p>2. 税の種類、特例に関する知識整理</p> <p>3. 宅地建物取引士試験で出題される問題の正答率 70%</p>				
授業内容	回 01：都市計画法演習① 02：都市計画法演習② 03：建築基準法演習① 04：建築基準法演習② 05：国土利用計画法演習 06：宅地造成等規制法演習 07：農地法演習 08：土地区画整理法演習 09：不動産に関する税金 演習① 10：不動産に関する税金 演習② 11：不動産鑑定評価演習 12：地価公示法、景品表示法演習 13：独立行政法人住宅金融支援機構法演習 14：土地一般、建物一般演習 15：統計演習	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原宅地建物取引士講座 【法令上の制限】				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	各講義の復習を中心に行う事				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	宅建総合Ⅳ	授業形態	演習	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	45	実務家		時間数	90
授業目的 概要	<p>【目的】 模擬試験を通して宅建士合格に必要な知識を整理する</p> <p>【概要】 模擬試験を通して基礎力の定着を図る</p>				
到達目標	<p>宅建士試験に合格する</p> <p>演習を通して、民法及び特別法の基礎講義を通じて得た知識のアウトプットを行う。</p> <p>演習を通して、宅建士としての業務法令、取りに引き関する法令一般の知識を整理する</p>				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮		回 16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚		
テキスト 参考文献	資格の大原宅地建物取引士講座 答案練習				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	各講義の復習を中心に行う事				

Syllabus

法務ビジネス科

授業科目	授業形態	区分
担当	年次	時期
授業回数	実務家	時間数
授業目的 概要	【目的】 【概要】	
到達目標		
授業内容	回 01：模擬試験 31 02：模擬試験 32 03：模擬試験 33 04：模擬試験 34 05：模擬試験 35 06：模擬試験 36 07：模擬試験 37 08：模擬試験 38 09：模擬試験 39 10：模擬試験 40 11：模擬試験 41 12：模擬試験 42 13：模擬試験 43 14：模擬試験 44 15：模擬試験 45	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：
テキスト 参考文献		
成績基準		
準備学習の 内容		

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	人文科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う。</p> <p>【概要】 日本の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 日本の歴史についての知識を身に付ける。 2. 日本の歴史上の出来事を説明できる。 3. 学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする。</p>				
授業内容	回 01：鎌倉時代(鎌倉幕府成立～承久の乱) 02：鎌倉時代(執権政治～元寇) 03：室町時代(鎌倉幕府滅亡～室町幕府の組織) 04：室町時代(室町将軍) 05：戦国～安土・桃山時代(織豊政権) 06：江戸時代(江戸幕府の成立～武断政治) 07：江戸時代(鎖国～正徳の治) 08：江戸時代(享保の改革～寛政の改革) 09：江戸時代(天保の改革～桜田門外の変) 10：江戸～明治時代(薩長同盟～明治維新) 11：明治時代(自由民権運動～条約改正) 12：明治時代(日清戦争～日露戦争) 13：大正時代(第一次世界大戦～政党政治) 14：大正～昭和時代(昭和初期の経済) 15：昭和時代(太平洋戦争)	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 日本史				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	人文科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世界の歴史を学ぶことにより、世界に対する知識や多様な考え方を養う</p> <p>【概要】 世界の歴史（特に西洋史）を学ぶ</p>				
到達目標	<p>世界の歴史のおおまかな流れを理解できる</p> <p>世界の歴史を通して各国の多様な考え方を理解できる</p> <p>各国の歴史やその考え方を理解し、現代社会の世界的な問題を捉える視点を養っている</p>				
授業内容	回 01：西洋史（古代ギリシア・ローマ） 02：西洋史（フランク王国・十字軍） 03：西洋史（中世ヨーロッパ諸国・ルネサンス） 04：西洋史（大航海時代・宗教改革） 05：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ①絶対主義） 06：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ②イギリス市民・アメリカ独立革命） 07：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ③フランス革命） 08：西洋史（ナポレオン・産業革命） 09：西洋史（19世紀の欧米①ウィーン体制～ロシアの近代化） 10：西洋史（19世紀の欧米②アメリカ合衆国の発展～帝国主義） 11：西洋史（第一次世界大戦とロシア革命） 12：西洋史（ヴェルサイユ体制・アジアの民族運動） 13：西洋史（第二次世界大戦） 14：西洋史（第二次世界大戦後の世界①） 15：西洋史（第二次世界大戦後の世界②）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 世界史				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	人文科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世界の地形や気候、文化や生活様式などを学習し、国際社会に対応した考え方を養う。</p> <p>【概要】 世界の地形や気候、文化や生活様式を学習する。</p>				
到達目標	<p>世界の地形や気候 世界の資源や産業、世界の生活や知識、日本の国土や人口、産業について 世界の国々について（詳細）</p>				
授業内容	回 01：世界の大地形、小地形 02：特殊な地形と陸水、海洋について 03：世界の気候① 04：世界の気候② 05：世界の植生、土壌、地図 06：世界の農業、水産業 07：世界の工業資源 08：世界の工業 09：世界の都市機構、人口 10：日本の国土、人口、産業 11：世界地誌（アジア） 12：世界地誌（アフリカ、ヨーロッパ①） 13：世界地誌（ヨーロッパ②） 14：世界地誌（ロシア、北アメリカ） 15：世界地誌（南アメリカ、オセアニア）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 地理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	社会科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経済社会や経済史についての知識を身に付ける。</p> <p>経済社会や経済史について説明ができる。</p> <p>現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：経済社会の変容と経済体制 02：現代の企業 03：市場メカニズム 04：市場の失敗 05：国民所得 06：経済成長と景気循環 07：通貨制度 08：金融政策 09：財政制度 10：財政政策 11：貿易と外国為替 12：日本経済①石油危機まで 13：日本経済②石油危機後 14：国際通貨・金融体制 15：地域的経済統合	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 経済				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	速修社会科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける。</p> <p>学習を通じて国内政治や海外事情に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：政治と権力、近代国家 02：国家論、行政国家の諸問題 03：政治制度論 04：政治過程論 05：日本国憲法の特徴、人権保障、公共の福祉 06：幸福追求権、平等権 07：精神的自由権 08：経済的自由権 09：人身の自由 10：社会権 11：請願権、受益権、憲法改正 12：国会の地位、権能、衆議院の優越 13：国会の種類、内閣 14：裁判所 15：地方自治、法学、戦後日本政治史	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 政治				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	自然科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 細胞や遺伝子の仕組みを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>動物や植物についての知識を身に付ける。 生態系の成り立ちについて説明ができる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：細胞と細胞膜のはたらき 02：染色体と細胞分裂 03：酵素・呼吸 04：同化作用・消化作用 05：生殖と発生 06：メンデルの法則 07：染色体と遺伝現象 08：遺伝子の本体と異変 09：神経系とそのはたらき 10：刺激の受容と反応 11：循環系・防御反応 12：肝臓・腎臓・ホルモン 13：動植物の調節 14：生物の集団 15：生物の進化と系統	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 生物				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>四則演算を理解する</p> <p>数的推理の整数分野を理解する</p> <p>数的推理の割合分野を理解する</p>				
授業内容	回 01：数と文字式の計算 02：方程式・不等式の計算 03：整数・計算パズル① 04：整数・計算パズル② 05：整数・計算パズル③ 06：整数・計算パズル④ 07：整数・計算パズル⑤ 08：整数・計算パズル⑥ 09：整数・計算パズル⑦ 10：整数・計算パズル⑧ 11：割合と比① 12：割合と比② 13：割合と比③ 14：割合と比④ 15：割合と比⑤	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の方程式分野を理解する</p> <p>数的推理の速さ分野を理解する</p> <p>数的推理の仕事算分野を理解する</p>				
授業内容	回 01：方程式・不等式① 02：方程式・不等式② 03：方程式・不等式③ 04：方程式・不等式④ 05：方程式・不等式⑤ 06：方程式・不等式⑥、速さ① 07：速さ② 08：速さ③ 09：速さ④ 10：速さ⑤ 11：速さ⑥、仕事算① 12：仕事算② 13：仕事算③ 14：仕事算④ 15：仕事算⑤	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び確率論を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の場合の数分野を理解する</p> <p>数的推理の確率分野を理解する</p> <p>数的推理の方程式分野を深く理解する</p>				
授業内容	回 01：場合の数① 02：場合の数② 03：場合の数③ 04：場合の数④ 05：場合の数⑤ 06：確率① 07：確率② 08：確率③ 09：確率④ 10：確率⑤ 11：方程式・不等式分野応用① 12：方程式・不等式分野応用② 13：方程式・不等式分野応用③ 14：方程式・不等式分野応用④ 15：方程式・不等式分野応用⑤	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理VI	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、基礎的な問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題を解き、解法(基礎)を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>記号化させて問題を解くことができる。</p> <p>作図をして問題を解くことができる</p> <p>作表をして問題を解くことができる。</p>				
授業内容	回 01：論理①（基礎） 02：論理②（基礎） 03：論理③（基礎） 04：論理④（基礎） 05：論理⑤（基礎） 06：順序①（基礎） 07：順序②（基礎） 08：順序③（基礎） 09：順序④（基礎） 10：順序⑤（基礎） 11：位置・方位①（基礎） 12：位置・方位②（基礎） 13：位置・方位③（基礎） 14：位置・方位④（基礎） 15：暗号（基礎）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 数的処理 判断推理編、資格の大原 公務員講座 テキスト 数的処理 BI（判断推理）				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して柔軟な思考力と空間認知能力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題と空間把握の問題を解き解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>判断推理の文章問題を解くことができる。</p> <p>判断推理の図形問題を解くことができる。</p> <p>解法をしっかりと理解することができる。</p>				
授業内容	回 01：対応①（基礎） 02：対応②（基礎） 03：対応③（基礎） 04：対応④（基礎） 05：対応⑤（基礎） 06：試合①（基礎） 07：試合②（基礎） 08：試合③（基礎） 09：試合④（基礎） 10：試合⑤（基礎） 11：うその発言①（基礎） 12：うその発言②（基礎） 13：うその発言③（基礎） 14：折り紙・一筆書き（基礎） 15：平面図形（基礎）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 数的処理 判断推理編と図形・資料解釈編、資格の大原 公務員講座 テキスト 数的処理BI（判断推理）				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理Ⅷ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、応用的な問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題を解き、解法(応用)を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基礎的な解法を様々な問題に応用することができる。</p> <p>基礎的な知識を様々な問題に応用することができる。</p> <p>応用レベルの判断推理(文章題)の問題を解くことができる。</p>				
授業内容	回 01: 集合① 02: 集合② 03: 集合③ 04: 集合④ 05: 推理・手順① 06: 推理・手順② 07: 推理・手順③ 08: 論理 確認テスト 09: 集合 確認テスト 10: 順序 確認テスト 11: 対応 確認テスト 12: 位置・方位 確認テスト 13: 試合 確認テスト 14: うその発言 確認テスト 15: 推理・手順 確認テスト	回 16: 17: 18: 19: 20: 21: 22: 23: 24: 25: 26: 27: 28: 29: 30:			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 テキスト 数的処理 B I (判断推理)				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	学習した解法を復習すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理Ⅹ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して基礎的な空間認知能力を養い、平面幾何学の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 空間把握の問題を解き、解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>平面図形（二次元）を正しく把握する。</p> <p>平面図形（三次元）を正しく理解する。</p> <p>空間把握力を日常生活に活用する。</p>				
授業内容	回 01：軌跡① 02：軌跡② 03：軌跡③ 04：軌跡④、正多面体、展開図① 05：展開図② 06：展開図③ 07：展開図④ 08：サイコロ① 09：サイコロ②、見取図・投影図① 10：見取図・投影図② 11：立体の切断① 12：立体の切断② 13：立体の切断③ 14：回転体 15：まとめ 確認テスト	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 数的処理 図形・資料解釈編				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理Ⅹ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力や資料を読み解く力を養う</p> <p>【概要】 基本的な幾何学及び統計学を学ぶ</p>				
到達目標	<p>幾何学（平面図形）を学ぶ</p> <p>幾何学（立体図形）を学ぶ</p> <p>統計学を学ぶ</p>				
授業内容	回 01：三平方の定理 02：相似 03：面積比① 04：面積比② 05：角度 06：円 07：その他の平面図形 08：立体図形① 09：立体図形② 10：実数① 11：実数② 12：割合・指数 13：対前年増加率① 14：対前年増加率② 15：その他の資料（三角図表・累積度数など）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	応用数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な数的推理を出題方法を知る</p> <p>応用的な数的推理の解法を習得する</p> <p>応用的な数的推理を発展的に理解する</p>				
授業内容	回 01：方程式・過不足算 02：平均算・年齢算 03：約数倍数 04：余りの問題 05：不定方程式 06：数列 07：暦・覆面算 08：方陣・記数法 09：割合・比 10：売買算 11：濃度算 12：旅人算・通過算 13：流水算・時計算 14：仕事算 15：場合の数・確率	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	応用数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な空間把握を出題方法を知る</p> <p>応用的な空間把握の解法を習得する</p> <p>応用的な空間把握を発展的に理解する</p>				
授業内容	回 01：折り紙 02：軌跡① 03：軌跡② 04：正多面体 05：展開図① 06：展開図② 07：サイコロ 08：投影図① 09：投影図② 10：積み木 11：平面構成 12：一筆書き 13：切断① 14：切断② 15：回転体	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	文章理解 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。また世界や日本の哲学・思想を学び、幅広い視野を身につける。</p> <p>【概要】 長文読解問題の解法と世界と日本の哲学・思想を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>現代文の文法を理解する。 長文読解のための手法を身につける。 哲学者・思想家の思考や記述に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：国語文法① 02：国語文法② 03：要旨把握① 04：要旨把握② 05：要旨把握③ 06：内容合致 07：文章整序① 08：文章整序② 09：空欄補充① 10：空欄補充② 11：ギリシアの思想 12：西洋近代思想 13：西洋現代思想 14：東洋思想、日本の思想① 15：日本の思想②、日本の近代思想	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 テキスト 文章理解				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	コミュニケーションスキルⅣ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家	広報、受付実務経験者	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 公務員試験に対応できる面接力・討論力を身につける</p> <p>【概要】 模擬討論や様々な面接対策を実施する</p>				
到達目標	<p>建設的な討論ができる</p> <p>個人面接において自分をアピールできる</p> <p>集団面接において自分をアピールできる</p>				
授業内容	回 01：公務員試験とは 02：身だしなみ・立ち居振る舞い 03：エントリーシート・自己PR作成 04：集団討論① 05：集団討論② 06：100の質問と対応練習① 07：100の質問と対応練習② 08：インタビュー形式面接練習① 09：インタビュー形式面接練習② 10：インタビュー形式面接練習③ 11：集団面接① 12：集団面接② 13：集団面接③ 14：集団面接④ 15：集団面接⑤	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	コミュニケーションスキルⅦ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家	広報、受付実務経験者	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 短期間で面接試験を突破する力を身につける</p> <p>【概要】 集団面接の実施やプレゼン作成・発表の機会を作る</p>				
到達目標	<p>エントリーシートの記入ができる。</p> <p>効果的なプレゼンを作り、発表することができる。</p> <p>面接で自分をしっかりアピールできる。</p>				
授業内容	回 01：受験説明・身だしなみ・立ち居振る舞い 02：エントリーシート① 03：エントリーシート② 04：エントリーシート③ 05：エントリーシート④ 06：エントリーシート⑤ 07：プレゼン① 08：プレゼン② 09：プレゼン③ 10：集団面接① 11：集団面接② 12：集団面接③ 13：集団面接④ 14：集団面接⑤ 15：集団面接⑥	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	コミュニケーションスキルⅧ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家	広報、受付実務経験者	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 公務員に求められるコミュニケーション能力及び文書作成能力を育む。</p> <p>【概要】 面接練習や作文練習を通じてコミュニケーション能力や文書作成能力を養う。</p>				
到達目標	<p>基礎的なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>基礎的な文書作成能力を身につける。</p> <p>応用的なコミュニケーション能力及び文書作成能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：3分間自己PR面接対策① 02：3分間自己PR面接対策② 03：プレゼンテーション面接対策① 04：プレゼンテーション面接対策② 05：Web面接対策① 06：Web面接対策② 07：コンピテンシー面接対策① 08：コンピテンシー面接対策② 09：受付面接対策① 10：受付面接対策② 11：自分自身に関わる作文作成 12：作文型論文（過去型）の作成 13：作文型論文（未来型）の作成 14：職業観に関わる作文作成 15：公務員の職務に関わる作文作成	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	効果測定				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	文章表現能力	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、作文の書き方の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 作文の基礎を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>作文の構成や原稿用紙の使い方について理解する。 まとめ表を活用し作文を書く際の素地を完成させる。 作文の書き方について理解する。</p>				
授業内容	回 01：作文の方針・構成・原稿用紙の使い方の説明 02：自身の経験を問う作文のまとめ表を作成 03：自身の経験を問う作文① 04：自身の経験を問う作文② 05：職能観を問う作文のまとめ表を作成 06：職能観を問う作文① 07：職能観を問う作文② 08：自身の経験を問う作文③ 09：職能観を問う作文③ 10：小論文の方針・構成の説明 11：小論文 12：国家対策作文① 13：自身の経験を問う作文④ 14：国家対策作文② 15：職能観を問う作文④	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 論作文対策				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	事前課題がある場合には、準備しておくこと				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態	演習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	90	実務家		時間数	180
授業目的 概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮		回 16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚		
テキスト 参考文献					
成績基準					
準備学習の 内容					

Syllabus

法務ビジネス科

授業科目	授業形態	区分
担当	年次	時期
授業回数	実務家	時間数
授業目的 概要	【目的】 【概要】	
到達目標		
授業内容	回 01：模擬試験 31 02：模擬試験 32 03：模擬試験 33 04：模擬試験 34 05：模擬試験 35 06：模擬試験 36 07：模擬試験 37 08：模擬試験 38 09：模擬試験 39 10：模擬試験 40 11：模擬試験 41 12：模擬試験 42 13：模擬試験 43 14：模擬試験 44 15：模擬試験 45	回 16：模擬試験 46 17：模擬試験 47 18：模擬試験 48 19：模擬試験 49 20：模擬試験 50 21：模擬試験 51 22：模擬試験 52 23：模擬試験 53 24：模擬試験 54 25：模擬試験 55 26：模擬試験 56 27：模擬試験 57 28：模擬試験 58 29：模擬試験 59 30：模擬試験 60
テキスト 参考文献		
成績基準		
準備学習の 内容		

Syllabus

法務ビジネス科

授業科目	授業形態	区分
担当	年次	時期
授業回数	実務家	時間数
授業目的 概要	【目的】 【概要】	
到達目標		
授業内容	回 01：模擬試験 61 02：模擬試験 62 03：模擬試験 63 04：模擬試験 64 05：模擬試験 65 06：模擬試験 66 07：模擬試験 67 08：模擬試験 68 09：模擬試験 69 10：模擬試験 70 11：模擬試験 71 12：模擬試験 72 13：模擬試験 73 14：模擬試験 74 15：模擬試験 75	回 16：模擬試験 76 17：模擬試験 77 18：模擬試験 78 19：模擬試験 79 20：模擬試験 80 21：模擬試験 81 22：模擬試験 82 23：模擬試験 83 24：模擬試験 84 25：模擬試験 85 26：模擬試験 86 27：模擬試験 87 28：模擬試験 88 29：模擬試験 89 30：模擬試験 90
テキスト 参考文献		
成績基準		
準備学習の 内容		

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	総合学習VI	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネス現場で通用する身だしなみ、社会問題意識、職業観、自己表現力を身につける</p> <p>【概要】 職業研究や官公庁の政策研究をし、それらを質疑応答の中で表現する</p>				
到達目標	<p>ビジネス現場で通用する身だしなみや立ち居振る舞いが身につく</p> <p>志望する官公庁の政策の知識がある</p> <p>社会問題に関する意見発表ができる</p>				
授業内容	回 01：質疑応答講義①（自己PR・力を入れてきたこと） 02：質疑応答講義②（自己PR・力を入れてきたこと） 03：質疑応答講義③（自己PR・力を入れてきたこと） 04：職務内容および政策研究を通して志望動機を作成 05：質疑応答講義④（志望動機・取り組みたい仕事） 06：質疑応答講義⑤（志望動機・取り組みたい仕事） 07：質疑応答講義⑥（志望動機・取り組みたい仕事） 08：注目している社会問題の研究 09：質疑応答講義⑦（気になるニュース） 10：質疑応答講義⑧（気になるニュース） 11：エントリーシート作成 12：コンピテンシー面接 13：質疑応答講義⑨（ESを使ったコンピテンシー面接） 14：質疑応答講義⑩（ESを使ったコンピテンシー面接） 15：質疑応答講義⑪（ESを使ったコンピテンシー面接）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	学校法人大原学園 就職ガイドブック				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	なし				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	簿記3級基礎	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家	企業経理経験者	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記一巡の流れを理解している。</p> <p>2. 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>3. 小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	回 01：簿記の目的 02：簿記一巡の流れ① 03：簿記一巡の流れ② 04：試算表 05：商品売買① 06：商品売買② 07：現金預金① 08：現金預金② 09：手形取引① 10：手形取引② 11：その他債権① 12：その他債権② 13：有形固定資産 14：総まとめ① 15：総まとめ②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	大原出版【日商簿記3級課程 商業簿記 テキスト】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	指定された範囲の問題集				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	簿記原理	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家	企業経理経験者	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 日本商工会議所簿記検定3級を通して、中小企業レベルの記帳から財務諸表の作成までを学ぶ</p> <p>【概要】 簿記一巡の流れを理解し、財務諸表に関する知識を習得する</p>				
到達目標	<p>簿記一巡の流れを理解する</p> <p>基礎的な仕訳が行える</p> <p>帳簿記入の基礎を理解する</p>				
授業内容	回 01：簿記の目的 02：簿記一巡の流れ① 03：簿記一巡の流れ② 04：試算表 05：商品売買① 06：商品売買② 07：現金預金① 08：現金預金② 09：手形取引① 10：手形取引② 11：その他債権① 12：その他債権② 13：有形固定資産 14：補助簿① 15：補助簿②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	大原出版【日商簿記3級課程 商業簿記 テキスト】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	指定された範囲の問題集				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	簿記通論	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家	企業経理経験者	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記一巡の流れを理解している。</p> <p>2. 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>3. 小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	回 01：株式会社会計 02：税金 03：その他収益・費用、訂正仕訳 04：試算表① 05：試算表② 06：伝票 07：決算 08：決算整理① 09：決算整理② 10：決算整理③ 11：決算整理④ 12：決算整理⑤ 13：財務諸表① 14：財務諸表② 15：総まとめ	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	大原出版【日商簿記3級課程 商業簿記 テキスト】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	指定された範囲の問題集				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	簿記 3 級演習	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	2	時期	後期
授業回数	30	実務家	企業経理経験者	時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 日商簿記 3 級の実践問題演習を通して、検定試験に合格する能力を身につける。</p> <p>【概要】 総務経理部所属経験を活かし、検定合格レベルの実務能力、実務における事例紹介を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 日商簿記 3 級レベルの仕訳及び勘定口座への記入ができる。</p> <p>2. 日商簿記 3 級レベルの試算表や財務諸表の作成ができる。</p> <p>3. 日商簿記検定 3 級合格レベルに到達する。</p>				
授業内容	回 01：仕訳問題演習① 02：仕訳問題演習② 03：仕訳問題演習③ 04：補助簿演習① 05：補助簿演習② 06：試算表演習① 07：試算表演習② 08：試算表演習③ 09：精算表演習① 10：精算表演習② 11：財務諸表演習① 12：財務諸表演習② 13：財務諸表演習③ 14：決算整理演習① 15：決算整理演習②	回 16：過去問演習① 17：過去問演習①解説 18：過去問演習② 19：過去問演習② 解説 20：過去問演習③ 21：過去問演習③解説 22：公開模試 演習 23：公開模試 解説 24：直前答練① 25：直前答練① 解説 26：直前答練② 演習 27：直前答練② 解説 28：直前答練③ 演習 29：直前答練③ 解説 30：総まとめ			
テキスト参考文献	大原学園「日商 3 級総まとめ」、「公開模試」、「直前答練習」				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	該当ページの確認				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	PC 実務演習 I	授業形態	実習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 Microsoft Word に関する高度な実践的スキルを理解して業務を効率化できる。</p> <p>【概要】 Microsoft Word の実践的な操作に関して問題演習を通じて Word の機能を理解する</p>				
到達目標	<p>基本的な Word の機能を理解できる</p> <p>実践的な Word の機能を理解できる</p> <p>高度な Word の機能を理解できる</p>				
授業内容	回 01 : Word 概要 02 : 作業環境・環境の設定と変更 03 : 書式設定 04 : ファイル・ページ設定・印刷 05 : 文書編集 1 06 : 文書編集 2 07 : 罫線と表 08 : オブジェクト 09 : Word の高度な機能 1 10 : Word の高度な機能 2 11 : テーマ別知識問題確認 1 12 : テーマ別知識問題確認 2 13 : テーマ別知識問題確認 3 14 : 模擬問題 1 15 : 模擬問題 2	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト 参考文献	Word 技能認定試験問題集				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	該当ページの確認				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	PC 実務演習 II	授業形態	実習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 Microsoft Excel に関する高度な実践的スキルを理解して業務を効率化できる。</p> <p>【概要】 Microsoft Excel の実践的な操作に関して問題演習を通じて Excel の機能を理解する</p>				
到達目標	<p>基本的な Excel の機能を理解できる</p> <p>実践的な Excel の機能を理解できる</p> <p>高度な Excel の機能を理解できる</p>				
授業内容	回 01 : Excel 概要 02 : 作業環境および環境の設定と変更 03 : 基本操作 04 : 数式と計算 1 05 : 数式と計算 2 06 : グラフ機能 07 : オブジェクト 08 : データベース機能 09 : Excel の高度な機能 1 10 : Excel の高度な機能 2 11 : テーマ別知識問題確認 1 12 : テーマ別知識問題確認 2 13 : テーマ別知識問題確認 3 14 : 模擬問題 1 15 : 模擬問題 2	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト 参考文献	Excel 技能認定試験問題集				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	該当ページの確認				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー基礎 Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 ファイナンシャルプランナーとしての基礎知識を身に付け、資格取得を目指す</p> <p>【概要】 ライフプランニングについての基礎知識を身に付ける</p>				
到達目標	<p>教育・住宅取得資金、社会保険に関する基礎知識を身に付ける</p> <p>公的年金制度について、基礎知識を身に付ける</p> <p>企業年金、キャッシュフロー表等ライフプランニングについての基礎知識を身に付ける</p>				
授業内容	回 01：ファイナンシャルプランナーの役割、財形貯蓄制度、ローンの基礎 02：教育取得資金、住宅取得資金、返済計画 03：社会保険（健康保険、国民健康保険、後期高齢者医療制度） 04：社会保険（介護保険、労災保険、雇用保険） 05：公的年金制度の概要 06：老齢基礎年金、老齢厚生年金 07：障害基礎年金、障害厚生年金 08：遺族基礎年金、遺族厚生年金、寡婦年金 09：年金の併給調整 10：企業年金自営業者のための年金 11：キャッシュフロー表① 12：キャッシュフロー表② 13：中小法人の資金計画 14：決算書の分析 15：クレジットカードに関する基礎知識	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 FP 講座 ファイナンシャルプランナー3 級テキスト				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー基礎 VI	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通じ、金融資産及び税についてより基礎的な知識を習得する</p> <p>【概要】 金融資産及びそれに関連する税の知識を習得する</p>				
到達目標	<p>経済状況とリスクについて理解する</p> <p>自分自身に課税される税金が計算できる</p> <p>所得税を中心に課税体系を理解する</p>				
授業内容	回 01：景気判断、対策と金利変動 02：金融商品の分類基準と預貯金、債券の特徴 03：債券リスク、株式 04：投資信託の概要、種類と情報開示 05：為替相場、先物・オプション取引概要 06：金融商品のリスクと課税関係 07：セーフティネットと法律 08：税金の分類と計算体系（所得税概論） 09：所得① 10：所得② 11：所得③ 12：損益通算と各種控除① 13：各種控除② 14：各種控除③ 15：申告制度と税	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 F P 講座テキスト&問題集				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー基礎 Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 学習を通して、不動産の取り扱い方や相続に基礎的な知識を理解する。</p> <p>【概要】 不動産に関する税金、遺産争いの防止策や納税資金対策についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>不動産に関する取引やルールを基本的な考え方を理解できる</p> <p>相続や事業継承に係る必要な法律上のルールを理解している</p> <p>不動産に係る税金や相続税に関する概要を学ぶ</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：不動産の価格、鑑定評価</p> <p>02：宅地建物取引業</p> <p>03：不動産の売買契約・賃貸契約</p> <p>04：都市計画法・建築基準法応用</p> <p>05：区分所有法及び農地法</p> <p>06：不動産に係わる税金</p> <p>07：不動産の有効活用と手法</p> <p>08：相続の定義・相続分・遺産分割・遺言（民法）</p> <p>09：贈与と法律（民法）</p> <p>10：贈与税の納税義務者・申告と納付（応用）</p> <p>11：贈与税の非課税財産・課税財産・計算方法（応用）</p> <p>12：相続と税金（納税義務者・申告と納付・非課税財産・計算方法・債務控除）</p> <p>13：財産の評価（建物・宅地）</p> <p>14：財産の評価委（宅地上の権利、小規模宅地等の評価減、株式、その他）</p> <p>15：相続対策</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原 F P 講座テキスト&問題集				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー応用 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通しリスクを考慮した上でのライフプラン形成のために必要な知識を学習する</p> <p>【概要】 ライフプラン実現のために必要な保険制度全般について、知識を習得する。</p>				
到達目標	<p>社会保険制度について理解する</p> <p>生命保険、損害保険について理解する</p> <p>自分自身のライフプラン、リスクマネジメントを行う</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：教育資金と住宅取得資金、各種ローンの基礎知識</p> <p>02：住宅取得資金のための借入金と返済計画（社会保険①）</p> <p>03：後期高齢者医療制度と退職後の医療保険制度（社会保険②）</p> <p>04：介護保険、労災保険、雇用保険（社会保険③）</p> <p>05：公的年金制度</p> <p>06：国民年金制度、厚生年金制度</p> <p>07：老後の基礎資金、基礎年金と厚生年金</p> <p>08：遺族基礎年金と厚生年金、確定拠出年金制度</p> <p>09：リスクマネジメントと保険制度</p> <p>10：生命保険①</p> <p>11：生命保険②</p> <p>12：保障、貯蓄重視の保険</p> <p>13：特約の種類、損害保険</p> <p>14：火災保険と自動車保険、賠償責任</p> <p>15：課税関係と第三分野も保険</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原 FP講座テキスト&問題集				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー応用 Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通じ、金融資産及び税についてより深い知識を習得する</p> <p>【概要】 金融資産を取り巻く環境及び所得に関する税について学習する</p>				
到達目標	<p>経済状況とリスクについて理解する</p> <p>自分自身に課税される税金が計算できる</p> <p>所得税を中心に課税体系を理解する</p>				
授業内容	回 01：景気判断、対策と金利変動 02：金融商品の分類基準と預貯金、債券の特徴 03：債券リスク、株式 04：投資信託の概要、種類と情報開示 05：為替相場、先物・オプション取引概要 06：金融商品のリスクと課税関係 07：セーフティネットと法律 08：税金の分類と計算体系（所得税概論） 09：所得① 10：所得② 11：所得③ 12：損益通算と各種控除① 13：各種控除② 14：各種控除③ 15：申告制度と税	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 F P 講座テキスト&問題集				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー応用Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 学習を通して、不動産の取り扱い方や相続に必要な知識を理解する。</p> <p>【概要】 住宅を建てる際の制限や不動産に関する税金、遺産争いの防止策や納税資金対策についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>不動産に関する取引やルールを基本的な考え方を理解できる</p> <p>相続や事業継承に係る必要な法律上のルールを理解している</p> <p>不動産に係る税金や相続税に関する一般的なことを説明できる</p>				
授業内容	回 01：不動産の価格、鑑定評価 02：宅地建物取引業 03：不動産の売買契約・賃貸契約 04：都市計画法・建築基準法応用 05：区分所有法及び農地法 06：不動産に係わる税金 07：不動産の有効活用と手法 08：相続の定義・相続分・遺産分割・遺言（民法） 09：贈与と法律（民法） 10：贈与税の納税義務者・申告と納付（応用） 11：贈与税の非課税財産・課税財産・計算方法（応用） 12：相続と税金（納税義務者・申告と納付・非課税財産・計算方法・債務控除） 13：財産の評価（建物・宅地） 14：財産の評価委（宅地上の権利、小規模宅地等の評価減、株式、その他） 15：相続対策	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 F P 講座テキスト&問題集				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー総合 I	授業形態	演習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通し、ファイナンシャルプランナーとしての知識全般（学科）を身に付ける。</p> <p>【概要】 年金、保険、不動産、金融資産、税金、相続についての問題演習を行う</p>				
到達目標	<p>F P の過去問題 3 級（学科）を理解する</p> <p>F P の過去問題 3 級（実技）を理解する</p> <p>F P 3 級を取得する</p>				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 F P 講座学科・実技過去試験問題集&解答				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	各回の模擬問題の復習				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ファイナンシャルプランナー総合Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 演習を通し、ファイナンシャルプランナーとしての知識全般（学科）を身に付ける。</p> <p>【概要】 年金、保険、不動産、金融資産、税金、相続についての問題演習を行う</p>				
到達目標	<p>F P の過去問題 2 級（学科）を理解する</p> <p>F P の過去問題 2 級（実技）を理解する</p> <p>F P 2 級を取得する</p>				
授業内容	回		回		
	01：模擬試験①		16：		
	02：模擬試験②		17：		
	03：模擬試験③		18：		
	04：模擬試験④		19：		
	05：模擬試験⑤		20：		
	06：模擬試験⑥		21：		
	07：模擬試験⑦		22：		
	08：模擬試験⑧		23：		
	09：模擬試験⑨		24：		
	10：模擬試験⑩		25：		
	11：模擬試験⑪		26：		
	12：模擬試験⑫		27：		
	13：模擬試験⑬		28：		
	14：模擬試験⑭		29：		
	15：模擬試験⑮		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原 F P 講座学科・実技過去試験問題集&解答				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	各回の模擬問題の復習				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	職業実践VI	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通じて、視野の広い社会人の育成を目指す</p> <p>【概要】 特定の分野にこだわらず、様々な分野の講演を行う</p>				
到達目標	<p>学生個人の活動範囲の幅を広げる</p> <p>講演の中で興味を抱かせ、活動の動機作りを行う</p> <p>チャレンジ精神を持たせる</p>				
授業内容	回 01：職場における自分の役割① 02：職場における自分の役割② 03：暮らしとお金① 04：暮らしとお金② 05：暮らしとお金③ 06：暮らしと文化① 07：暮らしと文化② 08：コミュニケーションスキル実践① 09：コミュニケーションスキル実践② 10：日常生活と法① 11：日常生活と法② 12：日常生活と法③ 13：日常生活と法④ 14：日常生活と法⑤ 15：日常生活と法⑥	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	必要な資料は適時配布する				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	マーケティング I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 現代企業におけるマーケティングの重要性と課題を理解し、将来、ビジネス社会で実践できることを目的とする。</p> <p>【概要】 顧客満足を前提とした戦略を中心に、事例研究も交え、様々な分析手法を習得する。</p>				
到達目標	<p>1. 4P図（4C図）から、顧客満足を前提とした戦略を選択することができる。</p> <p>2. 実際の店舗データを基に様々な分析を行うことができる。</p> <p>3. 様々な分析手法を学び、卒業研究に繋がられるようにする。</p>				
授業内容	回 01：マーケティングの必要性 02：マーケティングの4P 03：顧客満足 04：流通チャネル 05：プロモーション戦略 06：マーケティングの流れ 07：売上の構成要素①来店客分析 08：売上の構成要素②商品分析 09：事例研究① 10：事例研究② 11：マーケティング手法 12：エリアマーケティング 13：情報分析の手法① 14：情報分析の手法② 15：これからのマーケティング	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園「マーケティング」				
成績基準	効果測定				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	マーケティングⅡ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 現代企業におけるマーケティングの重要性と課題を理解し、将来、ビジネス社会で実践できることを目的とする。</p> <p>【概要】 顧客満足を前提とした戦略を中心に、事例研究も交え、様々な分析手法を習得する。</p>				
到達目標	<p>1. 店舗調査に必要な情報を入手し、そこから問題点を導き出す。</p> <p>2. 実際の店舗データを基に様々な分析を行うことができる。</p> <p>3. 店舗調査を受け、売り上げ向上に必要な企画を考える。</p>				
授業内容	回		回		
	01：事前分析①		16：		
	02：事前分析②		17：		
	03：課題抽出①		18：		
	04：課題抽出②		19：		
	05：企画立案①		20：		
	06：企画立案②		21：		
	07：企画立案③		22：		
	08：企画書作成①		23：		
	09：企画書作成②		24：		
	10：企画書作成②		25：		
	11：企画書作成④		26：		
	12：スライド作成①		27：		
	13：スライド作成②		28：		
	14：発表練習		29：		
	15：プレゼン		30：		
テキスト 参考文献	大原学園「マーケティング」				
成績基準	効果測定				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	卒業実践研究	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 学生生活を通じて関心を持った事柄に対して、様々な媒体より情報収集を行い、テーマに対しての幅広い知識と自分の考えや意見を発表する。</p> <p>【概要】 情報収集、分析を行ったうえでスライド作成、発表を行う。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 発表にふさわしい題材の選出 社会人を意識したプレゼン発表 見る側を意識したスライド作成 				
授業内容	回 01：題材研究 1 02：題材研究 2 03：題材研究 3 04：原稿作成 1 05：原稿作成 2 06：原稿作成 3 07：原稿作成 4 08：スライド作成 1 09：スライド作成 2 10：スライド作成 3 11：スライド作成 4 12：スライド作成 5 13：発表練習 1 14：発表練習 2 15：研究発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	効果測定				
準備学習の 内容	研究課題を事前検討				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	電話応対スキル	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員及び実務家担当者	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家	広報、受付実務経験者	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 就職活動において必要な立ち振る舞い・挨拶・敬語を養い、会社訪問時の電話のかけ方を身につける。</p> <p>【概要】 ビジネス現場で想定される実践的な知識や技能について学習する。</p>				
到達目標	<p>第一印象の重要性を理解する 社会人として適切な言葉を選択し、会話をすることができる 会社訪問時の電話予約ができる</p>				
授業内容	回 01：挨拶の必要性 02：基本の言葉使い 03：クッション言葉 04：状況に応じた言葉遣い 05：笑顔 06：お辞儀 07：基本的な電話応対 08：掛け方の基本 09：電話の掛け方【予約】 10：電話の掛け方【予約】 11：電話の掛け方【予約】 12：電話の掛け方【予約】 13：電話の掛け方【予約】 14：電話の掛け方【変更】 15：電話の掛け方【辞退】	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園【ビジネスマナー】				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	テキストの内容確認をする				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	一般常識対策	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 就職試験で出題される一般常識レベルの知識習得</p> <p>【概要】 時事対策も含めた一般常識試験対策授業</p>				
到達目標	<p>5教科の基礎知識の習得</p> <p>時事問題対策の中で、現代の社会問題に関心を持つ</p> <p>授業内容を面接や、グループディスカッションで生かす</p>				
授業内容	回 01：就活の一般常識① 02：就活の一般常識② 03：政治経済① 04：政治経済② 05：社会① 06：社会② 07：文化・スポーツ① 08：文化・スポーツ② 09：国語・英語① 10：国語・英語② 11：数学・理科① 12：数学・理科② 13：最新時事① 14：最新時事② 15：最新時事③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	日経 HR 編集部【時事&一般常識の完璧対策】				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	授業内の復習を中心に行うこと				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	電卓	授業形態	演習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 電卓の練習を通して忍耐力や集中力を養い、心技を磨くことで人格を形成する</p> <p>【概要】 電卓競技会問題、検定問題の練習を通して、忍耐力や集中力を身につける</p>				
到達目標	<p>競技会用の問題練習により、個人やクラスのレベルアップを図る</p> <p>検定試験の2級に合格する</p> <p>検定試験の上位級、上位団の取得をする</p>				
授業内容	回 01：電卓各部の名称と働き、配置、役割を知る 02：2指法をマスターしよう 03：構成比率の計算方法 04：加減算の練習1 05：加減算の練習2 06：乗除算の練習1 07：乗除算の練習2 08：見取り算の練習1 09：見取り算の練習2 10：伝票算の練習1 11：伝票算の練習2 12：検定3・4級の練習1 13：検定3・4級の練習2 14：検定1・2級の練習1 15：検定1・2級の練習2	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原出版【電卓技能検定試験問題集】日本電卓技能検定協会【全日本電卓競技大会問題集】				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	問題集の該当ページを確実に終わらせておくこと。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	販売・仕入管理	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 受注、納品、売上、請求、回収といった商品売り上げの流れにおける事務手続きを理解する</p> <p>【概要】 帳票を用い、各種帳票の記入方法や締日の概念、税込・税抜処理、消込処理などを理解する</p>				
到達目標	<p>売上事務、仕入事務の流れを理解している</p> <p>各種証憑書類や補助簿の作成ができる</p> <p>複数の取引先との売上事務処理ができる</p>				
授業内容	回 01：売上事務の流れ 1 02：売上事務の流れ 2 03：納品書の作成と売り上げ計上 1 04：納品書の作成と売り上げ計上 2 05：請求書の発行と代金回収管理 1 06：請求書の発行と代金回収管理 2 07：複数の取引先との取引 1 08：複数の取引先との取引 2 09：仕入事務の流れ 1 10：仕入事務の流れ 2 11：仕入管理の記帳 1 12：仕入管理の記帳 2 13：仕入れ代金の支払いと買掛金管理 14：問題演習（売上） 1 15：問題演習（仕入） 2	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園【販売管理】				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	テキストの該当ページを確認しておくこと				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	時事プレゼンテーション	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 時事に対して様々な媒体より情報収集を行い、テーマに対しての幅広い知識と自分の考えや意見を発表する。</p> <p>【概要】 情報収集・分析を行い、プレゼンテーションを行う。</p>				
到達目標	<p>1. テーマに対する情報が収集できる。</p> <p>2. テーマに関する説明及び発表内容の文章化ができる。</p> <p>3. プレゼンテーションスキルを身に付けることができる。</p>				
授業内容	回 01：ガイダンス及び研究テーマの告知 02：研究テーマの決定 03：統計資料データの収集・分析① 04：統計資料データの収集・分析② 05：統計資料データの収集・分析④ 06：統計資料データの収集・分析⑤ 07：統計資料データの収集・分析③ 08：研究資料作成日 09：プレゼンテーションデータの作成① 10：プレゼンテーションデータの作成② 11：プレゼンテーションデータの作成③ 12：発表練習① 13：発表練習② 14：発表練習③ 15：発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原【テキスト就職試験 頻出時事用語】				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ビジネスマナー演習応用販売接客	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 接客販売サービスのプロとして、顧客満足を高める電話、接客対応のマナーを実践形式で学ぶ</p> <p>【概要】 接客販売サービスに必要な顧客心理の理解や販売マナーについて、ロールプレイを通して身に付ける</p>				
到達目標	<p>社会人レベルのマナーと顧客心理を理解し、来客者の対応ができる</p> <p>顧客からの電話での問い合わせやクレームへの対応ができる</p> <p>販売接客のプロとして、顧客満足を高める店内接客ができる</p>				
授業内容	回 01：挨拶の種類 02：笑顔とお辞儀 03：正しい敬語の使い方 04：接客販売の心得 05：キャラクターを演じる 06：お客様の心理を理解しよう 07：接客用語 08：状況別の店内接客 09：電話での問い合わせ 10：クレームとは 11：クレーム対応方法 12：クレーム対応の練習 13：販売接客の練習 14：販売接客のロールプレイ 1 15：販売接客のロールプレイ 2	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」、随時参考資料を配布する				
成績基準	効果測定				
準備学習の 内容	テキストの内容確認をする。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ビジネスマナー演習応用商品説明	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 商品やサービスの知識を深めるとともに、顧客のメリットを分かりやすく伝える手法を実践形式で学ぶ</p> <p>【概要】 商品の持つ特長や機能から顧客のメリットまで、分かりやすく説明する手法を身に付ける</p>				
到達目標	<p>コミュニケーションの基本要素と商品の機能を理解できる</p> <p>人前で話すことに慣れ、好印象を与える話し方や振る舞いができる</p> <p>商品の特長から、顧客のメリットまでを順序立てて説明ができる</p>				
授業内容	回 01：商品説明とは 02：聞き上手は成功する 03：商品知識 04：お客様にとってのメリットを語る 05：説明に必要な資料を準備する 06：話の組み立て方 07：名刺交換 08：距離と位置に気をつける 09：商品説明の速度 10：コミュニケーションの三要素 11：説明シナリオの作成 1 12：説明シナリオの作成 2 13：商品説明の練習 14：商品説明のロールプレイ 1 15：商品説明のロールプレイ 2	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」、随時参考資料を配布する				
成績基準	効果測定				
準備学習の 内容	テキストの内容確認をする。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	情報処理基礎 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 IT 関連の基礎知識を習得する</p> <p>【概要】 IT パスポート試験のテキストを使用し、基礎知識を学ぶ</p>				
到達目標	<p>システム及びソフトウェアの開発において、支援を行うための技術が理解できている。</p> <p>情報機器及びシステムを把握するために必要な知識及び手法を理解できている。</p> <p>企業活動や関連業務の知識を持ち、かつ企業戦略に関する知識及び手法を理解できている。</p>				
授業内容	回 01：システム開発技術① 02：システム開発技術② 03：ソフトウェア開発管理技術① 04：ソフトウェア開発管理技術② 05：ソフトウェア開発管理技術③ 06：企業活動① 07：企業活動② 08：法務① 09：法務② 10：法務③ 11：基礎理論 12：アルゴリズムとプログラミング① 13：アルゴリズムとプログラミング② 14：コンピュータ構成要素 15：システム構成要素	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	ITパスポート 合格テキスト&例題（大原出版）、ITパスポート トレーニング問題集（大原出版）				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を確認すること				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	ビジネス財務	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 企業経営の目的をくみ取り、財務諸表を読解し、財務分析の基本的手法を習得することを目的とする。</p> <p>【概要】 財務諸表の基礎的な知識から財務分析の基本的な手法を習得する。</p>				
到達目標	<p>1. 企業経営の目的と財務会計との繋がりを理解することができる。</p> <p>2. 財務諸表を読解するための基礎知識を理解することができる。</p> <p>3. 財務分析に関する基本的な手法を理解することができる。</p>				
授業内容	回 01：マーケティングと企業経営の目的 02：財務諸表の基本 03：損益計算書の仕組み 04：販売費および一般管理費 05：営業外収益と営業外費用 06：特別利益と特別損失 07：収益性分析① 08：損益分岐分析 09：事例研究① 10：事例研究② 11：事例研究③ 12：貸借対照表の仕組み 13：収益性分析② 14：安全性分析 15：事例研究④	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園「マーケティング」				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	社会科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して世の中の諸問題を学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 現代社会について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>社会理論や社会問題についての知識を身に付ける。</p> <p>社会理論や社会問題について説明ができる。</p> <p>現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	回		回		
	01：社会集団・社会変動		16：		
	02：現代社会・パーソナリティ		17：		
	03：労働法規		18：		
	04：日本の労働状況		19：		
	05：社会保障制度		20：		
	06：社会保障の状況		21：		
	07：日本の環境問題		22：		
	08：地球環境問題		23：		
	09：国際社会と国際法		24：		
	10：国際機関		25：		
	11：国際情勢		26：		
	12：消費者保護		27：		
	13：医療・健康問題		28：		
	14：社会不安・教育問題		29：		
	15：科学技術・職業・農業		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 社会				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	自然科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 地球や地球を取り巻く環境、宇宙について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>地球や地球を取り巻く環境、宇宙についての知識を見に付ける。</p> <p>地球や地球を取り巻く環境について説明ができる。</p> <p>科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：地球の形と内部構造 02：動く大地 03：地震 04：岩石 05：大気構造と地球の熱収支 06：雲と降雨 07：地球をめぐる大気 08：気象現象 09：日本の四季 10：海洋と海水 11：地球の運動 12：太陽系と惑星（1） 13：太陽系と惑星（2） 14：恒星の世界 15：地層の比較、地質年代と日本列島の変遷	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 地学				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	自然科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物質とその変化について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 物質とその変化についての知識を身に付ける。 2. 物質とその変化について説明ができる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。</p>				
授業内容	回 01：周期表、物質の分類について 02：化学の基本法則、原子の構造 03：物質の量、化学結合 04：状態変化 05：気体の性質 06：液体の性質 07：コロイド 08：熱の種類、化学平衡 09：酸・塩基、中和 10：酸化還元 11：イオン化傾向 12：電気分解 13：無機化合物の性質 14：有機化合物の性質 15：生活環境の化学	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 化学				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	自然科学Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を体系的に学 ぶ。</p>				
到達目標	<p>物理学の基本的な概念や原理・法則を身に付ける。 物理学の基本的な概念や原理・法則を説明できる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：運動の表現① 02：運動の表現② 03：力① 04：力② 05：力③ 06：運動方程式① 07：運動方程式② 08：エネルギー① 09：エネルギー② 10：運動量 11：熱 12：波動 13：電気① 14：電気② 15：原子	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 物理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	自然科学Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。</p> <p>【概要】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 数学の基本的な概念や原理・法則を身に付ける。</p> <p>2. 数学の基本的な概念や原理・法則を説明できる。</p> <p>3. 科学的な見方、考え方を身につける。</p>				
授業内容	回 01：数と式（展開、因数分解） 02：平方根 03：式の値 04：整式の除法 05：1次方程式 06：2次方程式 07：2次方程式の判別式 08：座標 09：1次関数 10：2次関数の式、最大値、最小値 11：2次関数の判別式 12：関数と図形 13：三角比 14：正弦定理・余弦定理 15：対数	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座【数学】				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の整数分野を深く理解する</p> <p>数的推理の割合分野を深く理解する</p> <p>数的推理の速さ分野を深く理解する</p>				
授業内容	回 01：整数分野応用① 02：整数分野応用② 03：整数分野応用③ 04：整数分野応用④ 05：整数分野応用⑤ 06：割合と比応用① 07：割合と比応用② 08：割合と比応用③ 09：割合と比応用④ 10：速さ応用① 11：速さ応用② 12：速さ応用③ 13：速さ応用④ 14：速さ応用⑤ 15：速さ応用⑥	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	数的処理Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び確率論を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の仕事算分野を深く理解する</p> <p>数的推理の場合の数分野を深く理解する</p> <p>数的推理の確率分野を深く理解する</p>				
授業内容	回 01：仕事算応用① 02：仕事算応用② 03：仕事算応用③ 04：仕事算応用④ 05：仕事算応用⑤ 06：仕事算応用⑥ 07：場合の数応用① 08：場合の数応用② 09：場合の数応用③ 10：場合の数応用④ 11：確率応用① 12：確率応用② 13：確率応用③ 14：確率応用④ 15：確率応用⑤	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	応用判断推理	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 難易度の高いより実践的な問題に取り組み、公務員試験に対応できる力を身につける。</p> <p>【概要】 判断推理、空間把握の応用問題を解き、試験問題に対応できる力を養う</p>				
到達目標	<p>公務員試験レベルの文章題を解くことができる。</p> <p>公務員試験レベルの図形問題を解くことができる。</p> <p>解法を応用して、公務員試験レベルの問題に対応することができる。</p>				
授業内容	回 01：論理 02：順序 03：位置・方位 04：対応 05：勝ち負け 06：うその発言 07：暗号 08：推理・手順 09：集合 10：回転体と軌跡 11：平面構成 12：正多面体・展開図 13：立体構成 14：平面図形 応用確認テスト 15：空間図形 応用確認テスト	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 実践問題集 数的処理 B I (判断推理) B II (図形)				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	これまで学習した授業の復習を行うこと。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	応用数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な判断推理を出題方法を知る</p> <p>応用的な判断推理の解法を習得する</p> <p>応用的な判断推理を発展的に理解する</p>				
授業内容	回 01：論理① 02：論理② 03：集合 04：順序① 05：順序② 06：対応① 07：対応② 08：位置 09：勝敗① 10：勝敗② 11：カード・ゲーム 12：うそつき 13：暗号 14：推理手順① 15：推理手順②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	応用数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な資料解釈を出題方法を知る</p> <p>応用的な資料解釈の解法を習得する</p> <p>応用的な資料解釈を発展的に理解する</p>				
授業内容	回 01：概算技術 02：実数① 03：実数② 04：単位あたり量 05：割合① 06：割合② 07：指数① 08：指数② 09：増加率① 10：増加率② 11：増加率③ 12：特殊な資料① 13：特殊な資料② 14：複数の資料① 15：複数の資料②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	一般知識演習 I	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的 概要	<p>【目的】 一般知識の演習を通して公務員に必要な知識を習得する</p> <p>【概要】 一般知識の演習及び確認テストの実施</p>				
到達目標	<p>社会科学に関する知識を習得する</p> <p>人文科学に関する知識を習得する</p> <p>自然科学に関する知識を習得する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：社会科学①政治制度論</p> <p>02：社会科学②日本国憲法の特徴・基本的人権総論</p> <p>03：社会科学③幸福追求権・平等権・社会権・自由権</p> <p>04：社会科学④国会</p> <p>05：社会科学⑤内閣</p> <p>06：社会科学⑥現代の市場</p> <p>07：社会科学⑦国民所得</p> <p>08：社会科学⑧経済成長と景気循環</p> <p>09：社会科学⑨財政制度と財政政策</p> <p>10：社会科学⑩国際経済の動向</p> <p>11：人文科学①中国王朝史</p> <p>12：人文科学②中世・近代ヨーロッパ史</p> <p>13：人文科学③16～19世紀の欧米</p> <p>14：人文科学④帝国主義・戦後史</p> <p>15：人文科学⑤中世</p>		<p>回</p> <p>16：人文科学⑥近世</p> <p>17：人文科学⑦近代・現代</p> <p>18：人文科学⑧地形・気候</p> <p>19：人文科学⑨資源と産業</p> <p>20：人文科学⑩世界地誌</p> <p>21：自然科学①生体の構造</p> <p>22：自然科学②生体内の代謝</p> <p>23：自然科学③生殖と発生</p> <p>24：自然科学④遺伝と多様性</p> <p>25：自然科学⑤刺激・内部環境の恒常性と調節</p> <p>26：自然科学⑥地球の姿と動く大地</p> <p>27：自然科学⑦岩石</p> <p>28：自然科学⑧大気と海洋</p> <p>29：自然科学⑨太陽系と宇宙の構造</p> <p>30：自然科学⑩地球と人類</p>		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座スタンダード問題集				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	一般知識演習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目の補足学習する</p>				
到達目標	<p>倫理の理解を深める</p> <p>日本史の理解を深める</p> <p>世界史の理解を深める</p>				
授業内容	回 01：ギリシア思想 02：西洋近代思想 03：西洋現代思想 04：東洋思想・日本思想 05：日本思想 06：飛鳥時代まで 07：奈良時代 08：平安時代 09：戦後内閣① 10：戦後内閣② 11：世界史①殷～前漢 12：世界史②新～隋 13：世界史③唐～元 14：世界史④明・清 15：世界史⑤清末	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	一般知識演習Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目の補足学習する</p>				
到達目標	<p>地理の理解を深める</p> <p>政治の理解を深める</p> <p>経済の理解を深める</p>				
授業内容	回 01：地形 02：気候植生土壌 03：東アジア・東南アジア・南アジア 04：西アジア・アフリカ・ヨーロッパ 05：ロシア・北アメリカ・南アジア・オセアニア 06：統治機構①国会 07：統治機構②内閣・裁判所 08：人権（自由権・社会権） 09：選挙・政党制 10：地方自治 11：経済①市場メカニズム 12：経済②金融政策 13：経済③財政政策 14：経済④戦後経済体制 15：経済⑤地域経済統合	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	一般知識演習Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識及び数的処理の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目及び数的処理の補足学習する</p>				
到達目標	<p>生物の理解を深める</p> <p>平面幾何の理解を深める</p> <p>資料解釈の理解を深める</p>				
授業内容	回 01：遺伝 02：細胞膜と浸透減少 03：酵素 04：同化 05：免疫 06：三平方の定理 07：相似 08：面積比 09：円 10：立体 11：資料解釈①実数 12：資料解釈②割合 13：資料解釈③指数 14：資料解釈④増加率 15：資料解釈⑤その他の資料	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	コミュニケーションスキルⅡ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 演習を通して討論について学ぶ。エントリーシートの記入方法を身につける。</p> <p>【概要】 実際に討論を行い討論力を養う。公務員試験に向けてエントリーシートの記入方法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>討論力の向上 協調性と問題解決力を養う エントリーシートが記入できる</p>				
授業内容	回 01：公務員受験説明 02：YG 性格検査の実施 03：エントリーシートの記入① 04：エントリーシートの記入② 05：エントリーシートの記入③ 06：エントリーシートの記入④ 07：エントリーシートの記入⑤ 08：集団討論対策① 09：集団討論対策② 10：集団討論対策③ 11：集団討論対策④ 12：集団討論対策⑤ 13：集団討論対策⑥ 14：集団討論対策⑦ 15：集団討論対策⑧	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	コミュニケーションスキルⅢ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 公務員試験に向けて面接・プレゼン対策を行い実践的な力を身につける</p> <p>【概要】 本番を想定した面接・プレゼン対策を実施する</p>				
到達目標	<p>公務員試験に対応できる面接力を身につける</p> <p>公務員試験に対応できるプレゼン力を身につける</p> <p>公務員試験にふさわしい品格を身につける</p>				
授業内容	回 01：身だしなみ・立ち居振る舞い 02：インタビュー形式面接練習① 03：インタビュー形式面接練習② 04：インタビュー形式面接練習③ 05：インタビュー形式面接練習④ 06：インタビュー形式面接練習⑤ 07：インタビュー形式面接練習⑥ 08：集団面接① 09：集団面接② 10：集団面接③ 11：集団面接④ 12：集団面接⑤ 13：集団面接⑥ 14：グループ時事プレゼン① 15：グループ時事プレゼン②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	公務員総合演習Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	60	実務家		時間数	120
授業目的 概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。</p> <p>公務員として必要な一般知識を身につける。</p> <p>高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮		回 16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚		
テキスト 参考文献					
成績基準					
準備学習の 内容					

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	総合学習Ⅰ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、社会人として必要な基礎力を養い、併せて公務員に関する知識を学習する</p> <p>【概要】 社会人の基礎力を体系的に学び、公務員の知識を多角的に学ぶ</p>				
到達目標	<p>自己管理能力、協調行動力、IT活用力、海外行動力の重要性を理解する。 自己管理能力検定・協調行動力検定・IT活用力検定・海外行動力検定に合格する。 求められる公務員像や公務員の仕事内容を理解する。</p>				
授業内容	回 01：自己管理能力① 02：協調行動力① 03：IT活用力① 04：自己管理能力②・協調行動力② 05：IT活用力②・職場能力検定レポート 06：講話 07：グループワーク① 08：基礎学習① 09：海外行動力① 10：コーチング① 11：コーチング② 12：コーチング③ 13：海外行動力② 14：協調行動力実践① 15：基礎学習②		回 16：グループワーク② 17：グループワーク③ 18：プレゼンテーション① 19：プレゼンテーション② 20：協調行動力実践② 21：職業学習① 22：職業学習② 23：公務員試験概論① 24：公務員試験概論② 25：公務員試験概論③ 26：公務員研究① 27：公務員研究② 28：公務員研究③ 29：公務員研究④ 30：基礎学習③		
テキスト参考文献	名古屋大原学園 自己管理能力検定テキスト・協調行動力検定テキスト・IT活用力検定テキスト・海外行動力検定テキスト				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	総合学習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 資格に関する講義や講話などにより広範囲的な知識を学ぶ</p> <p>【概要】 資格の学習及び講話を通して基礎知識を習得する</p>				
到達目標	<p>危険物取扱者試験、世界遺産検定、秘書検定の基礎を学ぶ</p> <p>法律に関する基礎知識を学ぶ</p> <p>体育を通してストレス発散法を学ぶ</p>				
授業内容	回 01：危険物取扱者試験① 02：危険物取扱者試験② 03：世界遺産検定① 04：世界遺産検定② 05：秘書検定① 06：秘書検定② 07：法律基礎① 08：法律基礎② 09：法律基礎③ 10：法律基礎④ 11：法律基礎⑤ 12：法律基礎⑥ 13：体育① 14：体育② 15：職業講話	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	総合学習Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 体力トレーニングや救命講習を通して公安系公務員に必要な体力や知識を培う</p> <p>【概要】 体力トレーニングや救命講習の実施</p>				
到達目標	<p>公安系公務員に必要な体力を養う</p> <p>普通救命講習に合格する</p> <p>映像を通して公務員について知る</p>				
授業内容	回 01：体育① 02：体育② 03：体育③ 04：体育④ 05：体育⑤ 06：体育⑥ 07：救命講習① 08：救命講習② 09：救命講習③ 10：映像教育① 11：映像教育② 12：映像教育③ 13：映像教育④ 14：映像教育⑤ 15：映像教育⑥	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	職業実践 I	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、法に興味関心を持ち法的思考力を身につける。</p> <p>【概要】 私生活と法のかかわりについて講義を中心に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 法とは何かを理解する。</p> <p>2. 法の役割を理解する。</p> <p>3. 法的思考力を身につける。</p>				
授業内容	回		回		
	01：法とは何か		16：		
	02：法の分類		17：		
	03：法の形式と機能		18：		
	04：日常生活と法の関わり 1		19：		
	05：日常生活と法の関わり 2		20：		
	06：日常生活と法の関わり 3		21：		
	07：裁判と法 1		22：		
	08：裁判と法 2		23：		
	09：法解釈		24：		
	10：海外の法		25：		
	11：事例検討 1		26：		
	12：事例検討 2		27：		
	13：事例検討 3		28：		
	14：事例検討 4		29：		
	15：総まとめ		30：		
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	職業実践Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、企業・官公庁における様々な職種を知り、自己の職業選択に役立てる。</p> <p>【概要】 公務員ガイドブックや就職ガイドブックを利用した講義</p>				
到達目標	<p>1. 公務員の職種を理解する。</p> <p>2. 民間企業の業界、職種を理解する。</p> <p>3. 就職斡旋規定を理解する。</p>				
授業内容	回 01：就職斡旋規定 1 02：就職斡旋規定 2 03：公務員職種研究 1 04：公務員職種研究 2 05：公務員職種研究 3 06：公務員職種研究 4 07：企業業界説明 1 08：企業業界説明 2 09：企業業界説明 3 10：企業業界研究 11：活動準備 1 12：活動準備 2 13：活動準備 3 14：活動準備 4 15：官公庁・企業説明会	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園 【就職ガイドブック】【公務員ガイドブック】				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	職業実践Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 公務員倫理規定等を学ぶ中で公務員制度、役割等を理解する。</p> <p>【概要】 公務員倫理規定を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 公務員制度の仕組みを理解する</p> <p>2. 公務員の立場、役割を理解する</p> <p>3. 志望官公庁や動機を明確にする</p>				
授業内容	回		回		
	01：公務員制度概要（国家公務員）		16：		
	02：公務員制度概要（地方公務員）		17：		
	03：行政機関とは		18：		
	04：勤務体系		19：		
	05：義務1		20：		
	06：義務2		21：		
	07：分限処分と懲戒処分の違い		22：		
	08：事例紹介1		23：		
	09：事例紹介2		24：		
	10：必要な資質、能力について		25：		
	11：公務員として働く責任		26：		
	12：市民との関わり		27：		
	13：制度改革歴史		28：		
	14：制度改革		29：		
	15：総まとめ		30：		
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	職業実践Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して自助力、共助力を身に付け、災害から自身と地域を守る人材になること。</p> <p>【概要】 防災に関する知識を習得し、災害から身を守る力を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 災害、防災概論</p> <p>2. 災害発生前の準備について</p> <p>3. 災害発生時、発生後について</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：自然的災害について</p> <p>02：人為的災害について</p> <p>03：社会的災害について</p> <p>04：自助、共助、公助について</p> <p>05：避難行動について</p> <p>06：地域の防災組織について</p> <p>07：被害想定、ハザードマップについて</p> <p>08：防災計画と企業防災について</p> <p>09：災害時派遣組織と内容について</p> <p>10：防災用品と家族防災会議について</p> <p>11：防災訓練について</p> <p>12：地震、津波、風水害、土砂、火災時の行動について</p> <p>13：救助活動について（ロープ、応急手当、活動手順）</p> <p>14：避難所での生活について（HUGを実施）</p> <p>15：総まとめと学習の活かし方（ICS）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	公益財団法人日本ケアフィット共育機構 防災介助士資格取得講座テキスト				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	職業実践Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、犯罪や事故から身を守る力を身に付ける。</p> <p>【概要】 刑法の基礎と防犯に関する知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 刑法総論、窃盗罪の構成要件および窃盗罪等に関する防犯知識を身に付ける。</p> <p>2. グループワーク（プレゼンテーション作成）と、詐欺やインターネット犯罪、薬物事犯に関する知識と防犯知識を身に付ける。</p> <p>3. グループワーク（プレゼンテーション作成）と発表。</p>				
授業内容	回 01：刑法総論 02：刑法各論（窃盗、強盗、遺失物横領） 03：乗り物盗に関する防犯知識 04：ひったくり、侵入盗に関する防犯知識 05：グループワーク（プレゼンテーション作成）「テーマ 一定の予算で一戸建てに防犯措置をするなら」 06：プレゼンテーション発表 07：プレゼンテーション発表 08：刑法、特別法各論（詐欺、インターネット犯罪） 09：詐欺、インターネット犯罪に関する防犯知識 10：特別法（薬物事犯）道路交通法各論 11：薬物事犯、交通事故に対する防犯知識 12：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 13：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 14：プレゼンテーション発表 15：プレゼンテーション発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 刑法 ムック 防犯バイブル 2016				
成績基準	レポート				

準備学習の
内容

各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	職業実践VI（法学概論）	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員及び実務家担当者（ウサミハウス）	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家	不動産会社経営	時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、視野の広い社会人の育成を目指す</p> <p>【概要】 特定の分野にこだわらず、様々な分野の講演を行う</p>				
到達目標	<p>学生個人の活動範囲の幅を広げる</p> <p>講演の中で興味を抱かせ、活動の動機作りを行う</p> <p>チャレンジ精神を持たせる</p>				
授業内容	回 01：職場における自分の役割① 02：職場における自分の役割② 03：暮らしとお金① 04：暮らしとお金② 05：暮らしとお金③ 06：暮らしと文化① 07：暮らしと文化② 08：コミュニケーションスキル実践① 09：コミュニケーションスキル実践② 10：日常生活と法① 11：日常生活と法② 12：日常生活と法③ 13：日常生活と法④ 14：日常生活と法⑤ 15：日常生活と法⑥	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	必要な資料は適時配布する				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

法務ビジネス科					
授業科目	職業実践Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 各自治体の取組内容を学ぶことでそれぞれの自治体がおかれている状況、課題を理解する。</p> <p>【概要】 各自治体の政策研究を行い、プレゼンテーションで発表する。</p>				
到達目標	<p>1. 政策研究を行い、自治体ごとの課題を知る</p> <p>2. 研究の中で得た知識を志望動機につなげる。</p> <p>3. 魅力的な政策をプレゼンテーションにて発表</p>				
授業内容	回		回		
	01：自治体の政策とは		16：		
	02：政策紹介 1		17：		
	03：政策紹介 2		18：		
	04：政策紹介 3		19：		
	05：政策研究 1		20：		
	06：政策研究 2		21：		
	07：政策研究 3		22：		
	08：スライド作成 1		23：		
	09：スライド作成 2		24：		
	10：スライド作成 3		25：		
	11：スライド作成 4		26：		
	12：発表準備 1		27：		
	13：発表準備 2		28：		
	14：発表準備 3		29：		
	15：研究発表		30：		
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	特に無し				